資料２

中央新幹線（東京都・名古屋市間）環境影響評価準備書【静岡県】に係る公聴会における主な公述内容

開催概要　・日　時　　平成 26 年１月 21 日(火) 午後６時から８時まで
　　　　　・場　所　　静岡県男女共同参画センター「あざれあ」　６階大ホール
　　　　　・参加者　　公述人 13 名、傍聴者 112 人

受付順	氏　名 ※敬称略	環境保全の見地からの意見概要
1	青山真虎 （島田市）	・ＪＲ東海には、大井川渇水時の補償方法の提示と、関係市町長が納得するまでの説明を求める。 ・国は、エコパークとリニア計画の関連性を考えたのか疑問である。 ・流域住民は、大井川の水がかれることで、先祖からの土地・生活を次世代にバトンタッチしていくことができなくなる。再考を求める。
2	長谷川靖芳 （静岡市）	・エコパークの核心地域、緩衝地域、移行地域において、人間との保全環境をどう考え、手だてを取り、保存・継承していくのかについて、「保存機能」「経済と社会の発展」「学術的研究の支援」の観点で考える必要がある。
3	油井日出雄 （島田市）	・取水制限による農作物への影響を懸念する。 ・流入量が毎秒 8t の状況で、毎秒 2t の流量減少は影響が非常に大きい。 ・下流域での表流水や地下水への影響調査とともに、「大井川の水は減らさない。大井川の水は大井川に返す」ことを評価書へ記載願いたい。
4	長谷川誠四郎 （静岡市）	・人口減少、大量の電力消費、電磁波、フォッサマグナの存在、水脈分断、発生土置き場といった問題があり、心配している。 ・この山域は、一木一草厳重な保全が求められる国立公園との認識が必要。 ・誰が未来に生きる子孫に責任が取れるのか。
5	栗下浩信 （静岡市）	・ユネスコエコパーク登録への影響及びリニア事業とエコパークの整合性について、地元への説明を求める。 ・流量減少と水質汚濁の防止、増加する登山客への対策、工事用車両通行による井川地区の道路環境整備、井川地区人口の倍以上となる工事関係者の防犯・医療対策を行ってほしい。 ・環境について地元との話し合いを要望する。そうすれば努力して協力していきたい。 ・井川地区が携わったダム建設は、50 年以上たっても中部電力が地元対応している。ＪＲ東海にも、事業完了後もきちんと地元対応するよう求めたい。
6	佐野けい子 （静岡市）	・毎秒 2t の流量減少の問題は、大きな影響があると指摘されており、丹那トンネルでの水源枯渇についての工事記録や函南町 50 周年記念誌を読み、学んでほしい。 ・大量な電力が消費されるが、算出根拠が明確でない。

受付順	氏　名 ※敬称略	環境保全の見地からの意見概要
7	馬場利子 （静岡市）	・ＪＲ東海が公開している電磁波は、安全の目安となる２ミリガウスからかけ離れた巨大な値である。大きな電磁波に被曝することになり、人体に影響が無いか細胞レベルの影響を証明すべきである。 ・特定の電磁波は、動植物や昆虫にも影響がある。
8	中西宏二 （静岡市）	・リニア工事で原生林を切り開き、残土を大井川に捨てるなど言語道断である。 ・自然との共生を目指した、子供の夢を壊さないリニア計画の実現を求める。
9	松谷　清 （静岡市）	・長期工事で排出される土砂の問題、工事関係者の生活による自然体系や景観に与える影響、エコパークの認定に支障をもたらす等の問題がある。 ・巨大地震によるトンネル崩壊リスク、流量減少、需要や採算性の問題がある。 ・事業の凍結、すべての問題を関係者が協議する必要があるという内容を、知事意見に示してもらいたい。
10	杉井　学 （島田市）	・毎秒 2t の流量減少は、下流域の地域住民に重大な負担となるため、水を大井川に戻す保全対策を実施すべきである。 ・流量減少となる場合の代替措置は、利水団体への事前説明と了解を得て実行すべきである。 ・河川流量や地下水位の定点観測を行うこと。また、工事着手前から工事完了後について、定期的な水質検査を実施し、異常時は排水を止め対策を講じること。 ・利水団体に対して定期的に報告・協議する場を設けること。
11	岩下容子 （静岡市）	・NEXCO 中日本の飛騨トンネル掘削には、水抜きボーリング等の対策を実施している。 ・毎秒 2t は上越新幹線の中山トンネルで発生した湧水量の 10 倍の量である。
12	大塚雅弘 （静岡市）	・東京から大阪間で電力 74 万 kW を使用するという説明は疑問、もっと多いのではないか。 ・リニアには原発の稼動が必須となる。自然の摂理、人間の道理や尊厳を無視した計画である。
13	西原茂樹 （牧之原市）	・毎秒 2t の流量減少は非常に大きい。できれば、一滴の水も漏らさず戻してほしい。 ・2t の根拠、ＪＲ東海はすべてのデータを提示し問題がないことを示すべき。また、2t の水を戻す方法があるのか、可能であるのか、示すべき。 ・電磁波の影響や大深度トンネル掘削工事が耐えられるかの説明を求める。